

まちそわシネマ

Vol.4

『小屋番 ハケ岳に生きる 劇場版』（2026年/日本/85分）
《ナレーション》東野幸治 一双麻希
《監督・撮影・MA》深澤慎也（TBS ACT）
《プロデューサー》永山由紀子
《演出》菊池哲男（TBS ACT）

「山」そして「命」を知る小屋番たちの言葉が、

いまを生きるわたしたちの心をほどいていく



©TBS

2026 8/9 日
田村市文化センター

〒963-4312 福島県田村市船引町船引字南元町29-2

マチネ 13:30
ソウレ 17:30
(各回30分前開場)



令和10年(2028年)度の
第12回「山の日」全国
大会開催地が福島県に
決定しました！

Ticket

全席自由 (1F席・300席) *7/3(金)よりチケット販売開始
一般 500円 / 高校生以下 300円

- 取扱窓口：中央公民館／滝根公民館／大越公民館／都路公民館／常葉公民館
(販売時間：土・日・祝日を除く午前9時～午後5時まで)
※田村市の「高齢者健康長寿サポート事業利用券」をお持ちの方は、各公民館窓口での購入の際にご利用いただけます。
- 電子チケット：LivePocket (メンテナンス時以外は24時間購入可能、手数料はご購入者様負担。)

LivePocket

- ・左のQRコードを読み取り、ご購入ください。
- ・入場の際には、ご購入いただいた電子チケットのQRコードをご提示ください。



主催：田村市 / 田村市教育委員会
お問い合わせ：田村市文化センター
☎ 0247-82-5030

(土・日・祝日を除く9時～17時)



「山の日」はどんな日？

「山の日」は、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」を趣旨として、2014 年の国民の祝日法改正により8月11日が「国民の祝日」に制定され、2016年より施行されました。

この日には、山に登ることだけでなく、山の風景を眺めたり、自然の恵みに触れたり、誰もがそれぞれのかたちで山とのつながりを感じることができます。

“山の国”日本を見つめ直す日

日本列島は、四方を海に囲まれた自然豊かな“山の国”です。

水や森林、文化や地域起しなど、あらゆる面で山の存在は私たちの暮らしと深く結びついています。

「山の日」は、日本が“山の国”であること、そして私たちの暮らしがいに山に支えられてきたかを思い出す、大切なきっかけになります。これは、山や自然を大切に思う日本人の心が、形となって結実した象徴とも言えます。そして今、「山の日」は持続可能な未来を築くための共創のシンボルとして、新たな役割を担い始めています。

「山の日」は、市民から始まった祝日運動です

国民の祝日は、1年に16日あります。
美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築き上げるために定められた
「国民こそって祝い、感謝し、又は記念する日」(国民の祝日に関する法律第一条)

「山の日」は”市民の願いと行動”によって実現された、極めて希な祝日
「山の日」は、政府や行政が一方向的に作った祝日ではありません。

その始まりは、1961年、富山県・立山での登山者による「山の日をつくろう」宣言にまでさかのぼります。

令和10年度の第12回「山の日」全国大会開催地が 福島県に決定しました!!

「山の日」を記念して、毎年、開催地の知事を会長とする「山の日」全国大会実行委員会が主催者となり、「山の日」全国大会を開催しています。

令和10年(2028年)度には、宝の山「磐梯山」周辺エリア(北塩原村、磐梯町、猪苗代町)において、第12回「山の日」全国大会を開催することが公益財団法人全国山の日協議会理事会で決定されました！

○例年 8 月 11 日に開催

○記念式典、歓迎フェスティバル、レセプションのほか、春から秋にかけて連携イベントがあります。



山から学ぶこと

- ・自然環境についての学び
- ・文化的・歴史的な学び
- ・環境保護意識の醸成
- ・科学的観察力の向上
- ・生涯学習の促進
- ・フィジカル教育と健康促進
- ・チームワークとリーダーシップの育成
- ・自己管理能力の向上
- ・創造性の促進
- ・ストレス管理とメンタルヘルス改善など・・・

山に親しむ機会とは？

- ・ハイキング、登山、キャンプ、自然教育
 - ・トレイルランニング、マウンテンバイク、クライミング、スキー
 - ・自然観察、写真撮影、自然ガイドツアー
 - ・自然療法・ウェルネスツーリズム
- ほかにも・・・

「まちそわシネマ」で
『小屋番 ハヶ岳に生きる 劇場版』
を観ることも、山に親しむ機会です！